

I. 次の楽曲はスメタナ作曲、弦楽四重奏曲 ホ短調「わが生涯より」の一部分である。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑩の音程名を答えなさい。また、①～⑤の転回音程と同じ音程になるように下の楽譜の各音の上方に全音符で書きなさい。

(音程名) (1点×10=10点)

① 長6度	② 完全1度	③ 減5度	④ 短7度
⑤ 短2度	⑥ 長3度	⑦ 完全11度(1octと完全4度)	⑧ 増1度
⑨ 減15度(1octと減8度)	⑩ 増5度		

(転回音程) (2点×5=10点)

2. 次の(a)～(e)で示される音階になるよう、必要な箇所に変化記号を書きなさい。(3点×5=15点)

(a) ⑦を下風音とする長音階

(b) ①を導音とする和声短音階

(c) ⑦を第VI音とする旋律短音階上行形

(d) ②を第III音とする長音階

(e) ③の異名同音を風音とする旋律短音階上行形

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい

1. (1)～(7)の和音について種類、転回形、所属調を右からそれぞれ選び、種類・転回形(1点×14=14点) その記号、あるいは番号を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。所属調(完答)(3点×7=21点)

和音	種類	転回形	所属調										
(1)	エ	B	16	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
(2)	イ	B	5	6	7	16	17	/	/	/	/	/	/
(3)	ウ	B	5	16	19	/	/	/	/	/	/	/	/
(4)	カ	B	18	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
(5)	ア	C	1	5	6	12	20	/	/	/	/	/	/
(6)	オ	A	5	19	/	/	/	/	/	/	/	/	/
(7)	ア	A	5	6	7	16	21	/	/	/	/	/	/

種類  
ア. 長三和音  
イ. 短三和音  
ウ. 減三和音  
エ. 増三和音  
オ. 減七の和音  
カ. 減七の和音

転回形  
A. 基本形  
B. 第1転回形  
C. 第2転回形  
D. 第3転回形

所属調  
1. ♯長調  
2. ♯長調  
3. ♯長調  
4. ♯長調  
5. ♯長調  
6. 変ロ長調  
7. 変ホ長調  
8. 変イ長調  
9. 変ニ長調  
10. 変ト長調  
11. 変ハ長調  
12. ♯短調  
13. ♯短調  
14. ♯短調  
15. ♯短調  
16. ♯短調  
17. ♯短調  
18. ♯短調  
19. ♯短調  
20. 変ロ短調  
21. 変ホ短調  
22. 変イ短調

2. 次の文中の[ ]に調名を、《 》には関係調の名称を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(2点×5=10点)

- a. (2)と(3)を同時に含む短調の同主調の平行調は[ 変ロ短調 ]である。
- b. (4)の所属調の平行調の属調は[ 変ロ長調 ]である。
- c. (6)の所属調の下風調の《 変ニ長調 》はト短調と[ 変ニ長調 ]である。
- d. (7)を属和音とする短調の《 異名同音調 》は変ニ短調である。

III. ①～⑥の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書き入れなさい。(1点×5=5点)

① <i>divisi</i>	3
② <i>feroce</i>	4
③ <i>rusticana</i>	2
④ <i>senza tempo</i>	9
⑤ <i>stringendo</i>	8

- 楽語
1. 軽快に  
2. 素朴に  
3. 分けて  
4. 荒々しく  
5. おどけて  
6. 愛らしく  
7. 次第に遅く  
8. 次第に速く  
9. 自由な速さで  
10. 正確な速さで

IV. (A)～(E)の楽曲は何調か、答えなさい。(3点×5=15点)

(A)

(B)

(C)

(D)

(E)

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
ト短調	ロ短調	ハ長調	ニ長調	変ロ短調